

町政を問う

森安町長 二期目の出馬は



町内に誕生した大型商業施設



細田 栄

細田 森安町長の任期も残すところ一か月あまり

となったが、公式の場で二期目の出馬表明をされ

町政の課題は

町長 住みやすい環境の整備

ていない。

森安町長は一期四年間、合併前やバブル期の大規模投資による膨大な借金体質から脱却するため、過大な合併まちづくり計画を見直し、身の丈にあった総合計画第二次基本計画を策定された。

これに基づき過疎債や合併特例債など後年度に元利償還の七割を交付税算入する事業に特化し実施してきた。その結果、実質公債費比率が大幅に改善された。

やり残した課題などを挙げて力強い出馬表明と、二期目の抱負を聞きたい。

町長 四年間町政を担当させていただき、財政状況の改善や官の事業ばかりでなく、民間の大規模商業施設の立地、メガソーラー発電施設の建設な

ど全体的にはプラスの方にいったのではないかと思っている。

今後の課題としては、やはり住みやすい生活環境の整備である。少子高齢化と過疎化が進行するなかで、子育て環境の整備、教育などハード・ソフトとも、さらに充実する必要があると思っ

ている。二期目の出馬については、来年一月二十七日の町長選挙で町民の皆様の審判を受ける準備を進めたい。

町村合併の評価

細田 合併後八年を経過したが、合併効果のあった点と、いならなかった点は何か。

町長 合併効果で大きい

学校給食会計

ものは、町三役や議員などの特別職の減、職員数の減などによる人件費の抑制と合併特例債・合併交付金などの有利な財源が利用できたこと。いたらなかった点としては、町の一体感の醸成には、もう少し時間を要すると思われる。

細田 学校給食会計のあり方について検討されたら、平成二十三年度予算審査特別委員会指摘されているが、いつ頃を目途に結論を出されるか。

担当課長 今議会の全員協議会で公会計化の方向で協議したい。